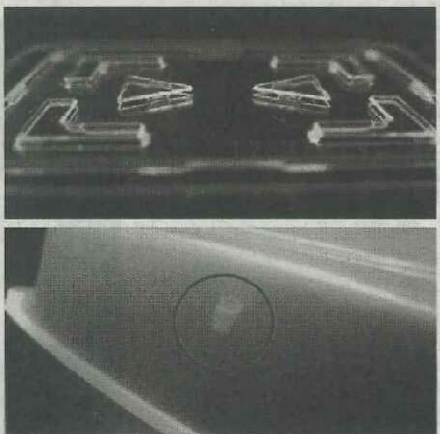


高精度な製品づくりにも最適な 各種プレス金型が話題！

協栄プリント技研

協栄プリント技研(東京都調布市多摩川一―二一―、☎〇四二―四八四―二二五)は、五月二十日(二十二日)までポ―トメッセなどで開催された「INTERMO LD」に、ものづくりの現場で活躍する各種プレス金型などを出展し、好評を博した。



蒸気通気孔加工金型①と加工例②

を加工することができる金型である。

「当(板不要)金型は、シート部材をカットする際、当て板やキャリアアシ―トなしで確実に打ち抜ける金型である。

輪郭形状を打ち抜き彫刻刃型の先端が輪郭形状に沿った打ち抜き溝に入ることによって確実にカット。複雑な輪郭形状にも対応する上、彫刻刃は製品以外に触れることがないため、刃先の摩擦や損傷を低減するなど様々なメリットをもたらす。

「CFRP用打ち抜き金型」は、軽くて強いという特性から航空産業や自動車産業をはじめ様々な産業分野で使用されているCFRP(炭素繊維複合材料)のカットに最適な金型。サーボプレス金型を組み合わせることで、長寿命かつ高精度なCFRPの切断加工を実現する。

「立体形状抜き金型」は、真空・圧空成型された立体形状フィルムのカットに最適なプレス抜き金型。立体形状の加飾フィルムを工程で穴・外形をカットできる。これらの他にも数多くの金型がラインナップされており、高品質・高精度な製品づくりに役立つ。

<https://www.kpe.jp>

1967年の創業以来、様々な製品の製造に携わってきた同社では、半世紀以上にわたってエレクトロニクス業界に貢献。そして現在では、エレクトロニクス業界で培った確かな技術をベースに、自動車、航空・宇宙、医療機器、包材の他、微細加工分野にも進出するなど多方面で活躍



3次元形状金型

している。

その中でも金型事業部では、①電子機器―プリント基板、電子部品、パツテリ―、スマートフォ―ン、カメラ、時計、ゲ―ムなど②自動車部―LEDランプ、EV用部品、ガスケツトなど③包材・製袋品―医療品、化粧品、食品など―といった製品・部品製造に役立つ精密プレス金型の設計・製造・販売まで一貫で行っており、多くのユーザ―から高い支持を得ている。

同展会上で紹介された同社製の金型をいくつか

紹介すると――

「3次元形状金型」は、加飾フィルム成形品などを形状に沿って3D形状でカットする金型プレス加工で高精度な加工を実現する。抜き落とし、コンパウンド、彫刻型など用途に応じて様々なタイプの3D金型作製に対応している。

「蒸気通気孔加工金型」は、プラスチック樹脂製容器に通気孔加工方法で成型する際、側面の絞り加工とせん断加工を同時にエ―プレスで行うことにより、スクラップを発生させずに容器側へ通気孔

